薔薇の葬列（1969）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1969/09/13

【解説】
前衛的なドキュメンタリー作品で知られる松本俊夫が、脚本・監督を務めた初の長編劇映画。オイディプス王の悲劇をモチーフに、前衛的かつ実験的な作品に仕上がっている。スタンリー・キューブリックに影響を与えたという逸話もある。
ゲイバーのジュネで働くエディは、オーナーの権田と関係を持った。エディは権田から「ママのレダを辞めさせる」「お前がママだ」とささやかれ、自分の母親を思い出していた。女手一つで自分を育ててくれた母親の情事を見てしまったエディは、発作的に母親を殺してしまったのだった。エディとレダの関係は悪化、レダの顔を傷つけようとして失敗したレダは、権田に捨てられ自殺してしまう。エディはママの座を得て喜ぶが、権田は自分とエディの本当の関係を知り…。

【クレジット】

監督	松本俊夫	
製作	工藤充	
脚本	松本俊夫	
撮影	鈴木達夫	
美術	朝倉摂	
編集	岩佐寿枝	
音楽	湯浅譲二	
出演	ピーター	エディ
	土屋嘉男	権田
	小笠原修	レダ
	東恵美子	母
特別出演	秋山庄太郎	
	粟津潔	
	淀川長治	
	篠田正浩	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.